



うち だ かず よし
内 田 和 良
(無会派)

- 市民要望への対応姿勢は？一部の職員に市民の怒り
- 子育て安心のまちづくりを！幼保無料化・ゾーン30

質問 市民に対する一部の職員の対応について、苦情が出ています。進言、要望をしても出来ない理由を強い調子で並べられて終わりとなる。市民の生活利便性向上に寄与すると思われることは、ルール、予算等の縛りがあっても、別の手法を使う、民間と行政の協力で低予算で形にする、などの市民とともに考え知恵を出す前向きな姿勢が全ての職員に望まれるが。

市長 要望対応については庁内規定を設けているが、今後も可能な限り前向きに対応したい。

質問 許認可部署職員等の上から目線の態度は許されない。また順番待ち機があるときの上席職員のフォローが望まれるが。

市長 職員の接遇態度については市民に誤解を与えないよう、教育を今後も鋭意進めていく。

質問 予測の2倍の速さで人口減を続ける奥州市は幼保無料化で子育て家庭の転入を促し、活性化を図ることを考えてはどうか。

予測の2倍の速さで人口減を続ける奥州市は幼保無料化で子育て家庭の転入を促し、活性化を図ることを考えてはどうか。



常盤小学校地域に設置の「ゾーン30」

市長 国が5歳児の無料化を検討するとしている折、その動きを見守りながら検討したい。

質問 学校周辺の通学路の安全確保対策として時速30キロ制限地域「ゾーン30」が、常盤小学校地域に設置された。路面表示方式のため運転者にも分かりやすく、親も安心できる。全市的な今後の進め方は。

市長 これは盛岡市について県内2番目の設置。表面ペイント施工は県で行うが、下地となる路面の修繕等は市の負担。地域の了解も必要。個々の学校地域の様子等を見ながら、今後、状況に応じて検討したい。

これは盛岡市について県内2番目の設置。表面ペイント施工は県で行うが、下地となる路面の修繕等は市の負担。地域の了解も必要。個々の学校地域の様子等を見ながら、今後、状況に応じて検討したい。



こん の ひろ ぶみ
今 野 裕 文
(日本共産党)

- ダムからの本格受水による水道料金改定見通しは
- 農業マスタープランの策定状況は

質問 共産党市議団は、ダムからの本格受水にあたり、①ダムから受水できない不測事態に備えるため既存の水源を一定確保、

②水道料金を上げている責任水量制度の見直し、③必要以上の設備投資分は水道料金に上乗せしないことを求めている。水道料金の見直しについてどのようなことを考えているか。

市長 広域行政組合からの受水費は高くなるが、できるだけ納得いただける料金にした。利用者と水道会計双方に無理のない料金を模索していきたい。

質問 農業マスタープランの作成状況とその周知方法について伺う。

市長 32地域中29地域でプランが策定されている。青年就農交付金を受け取ることができるようなプランの策定になり、農家への周知について不十分であると考えている。地域営農ビジョン、水田フル活用ビジョンを策定するので、それに合わせて周

32地域中29地域でプランが策定されている。青年就農交付金を受け取ることができるようなプランの策定になり、農家への周知について不十分であると考えている。地域営農ビジョン、水田フル活用ビジョンを策定するので、それに合わせて周

知を図っていく。

質問 農地中間管理機構設立で、定めることになると推測される農用地集積計画とマスタープランに食い違いがないようにすることが必要だと考えるが。

市長 農地中間管理機構について、農業委員会の意見をきくことができるとの規定である。市としては、すべての事例について農業委員会に諮ることとしたいと考えている。地域の担い手を優先させ、農業マスタープランにのっとり進めて行きたい。



南都田地内の暗渠工事